

## 天文観測施設めぐり (XI)

### 四 国

四国地方にも、高校や小中学校を中心に天体観測施設の増加がみられるが、ここでは、天体観測施設を設置している公立の青少年関係施設を紹介する。

香川県立五色台少年自然の家（高松市生島町青峰）は25cm屈赤（五藤）8cm双眼鏡（ニコン）などを備えている。天文関係の行事では、天体観測実技講習会や星を見る会などを高松市民文化センターのプラネタリウムと提携して定期的に行っている。徳島県立少年自然の家（麻植郡山川町字奥野井344の2）には15cm屈赤（五藤）があり、それによる観測のほか天体写真展なども催している。

この二つの少年自然の家は、宿泊施設なので、その利用者が天体観測もできるようになっている。しかし、担当の職員と事前に連絡をとれば、天文愛好者や高校の天文部などの要望にも応じている。

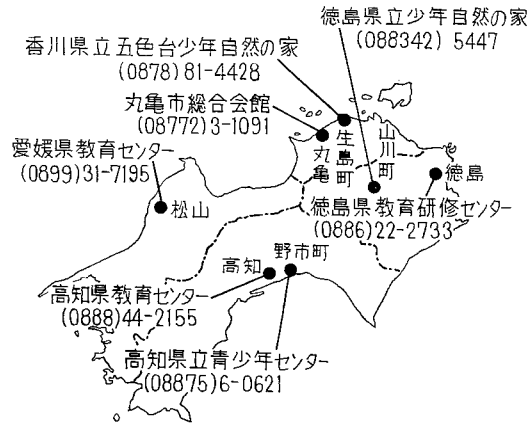
徳島県教育研修センター（徳島市万代町5丁目22の9）には20cm屈赤（ニコン）が、高知県教育センター（高知市鴨部668）には15cm屈赤（五藤）が、そして、愛媛県教育センター（松山市清水町3丁目90）には15cm屈赤（五藤）が設置されているが、どの施設も教職員の研修のためのものであるから、教職員以外の利用はむずかしい。しかし、徳島のように教師の引率する児童生徒には利用させているところもある。

丸亀市総合会館（丸亀市大手町3番地の1）には、青少年部門の施設として、15cm屈赤（西村）を設置している。これは青少年ならだれでも利用することができる。ここには、天文クラブがあって、夏期には親子天文観測会などを開催している。

高知県立青少年センター（香美郡野方町西野）では、

15cm屈赤（ニコン）、ロイヤルR15型などを活用して、青少年に天体観測をさせている。

四国には、専門の天文台も天体観測施設もないので、以上の施設にかかる期待も大きいようである。（小川和夫）



◇ 11月の天文暦 ◇

日	時	記	事
1	1	朔	
5	21	月	最近
8	1	上弦	
4		立冬	(太陽黄経 225°)
6		金星	内合
9	21	天王星	合
15	5	望	
16	11	水星	東方最大離角
21	7	月	最遠
23	1	小雪	(太陽黄経 240°)
6		下弦	
26	9	水星	留
12		木星	留
27	1	金星	留
30	17	朔	

